



2025.9.20 第146号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信

## 神に感謝

全国の皆様の尊いお祈りとご献金、日本基督教団年金局の尊い働きにより、隠退教師の生活が支え、守られています。現在、宮崎市に住まい、宮崎清水町教会の礼拝や祈禱会に出席いたしております。

三枝道也は、他教団の牧師であつた両親のもとに8人兄弟の長男として生まれ、高校3年で受洗、大学卒業後、当時所属していた神学校へ進み、卒業後22年間その教団の教会を四ヶ所伝道牧会致しました。その後、日本基督教団に教師転入させていただき36年間、四つの教区で六つの教

三枝 道也  
三枝 育代

会に招聘され、妻育代と二人で伝道牧会に当たらせていただきました。現在、隠退して七年が経ち、宮崎の地で日曜



三枝道也先生と三枝育代先生

日の礼拝、木曜日の祈禱会に欠かさず出席いたしております。

す。夫婦共に健康が支えられていますこと、只々、感謝です。

日々の歩みの中で、毎朝、「ここを高くあげよ」（讃美歌21の18番）と賛美しつつ、家庭礼拝と祈りの時を大事にしております。夕べには夫婦で、長年続けている散歩を（最近は無理のない程度に）楽しんでおります。それ以外は週三日のデイサービスや月二回のショートステイを利用しています。89歳を迎え、新しい環境に慣れ親しみ、子どもたちの助けもいただきつつ「わたしとわたしの家は主に仕えます」（ヨシユア記24章15節）を座右の銘に、日々感謝しつつ、生活させていただいております。

三枝育代は、今年で91歳になります。キリスト教との出会いは、戦後のことです。複雑な家庭環境、特に父親のことでつらく、憎しみを抱えて歩んでいました。そんな時に

歩行中、小松川教会の看板にぶつかつたことがきっかけで行くようになりました。求道中「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」(マタイ5章44節)との聖書のみ言葉はつらかったです。しかし心が荒れ、喜びや笑いが消えていた私は、教会で「私をお救いください、私の汚れた心を清くしてください」と祈っていました。そして十字架の神の愛を知った時、私は生まれ変わりました。

小松川教会で洗礼を受け、心は喜びに満ち、主は献身に導いてくださいました。東京聖書学校で小原十三司校長からご指導を受け、日本基督教団の教師になりました。小松川教会で原登牧師ご夫妻のもと伝道師として10年、尾鷲教会で10年の牧会の後三枝道也と結婚しました。伝道牧会と共に、新しい家庭を形づくる苦勞と喜びを経験しました。現職中は、応援伝道に信徒の方々と共に毎年出かけま

した。どの年代も全力投球させていただき、魂の救いの大きな喜びに共に与らせていただきました。

伝道師として主任と共に主に用いていた時代、主任牧師として主に用いていた時代、そして、道也牧師と共に用いていた時代の時でした。二人とも隠退した今、静かに走馬灯のように過ぎし日々を思い起こし、夫と共に主を賛美しています。

## 「隠退教師を支える運動」

第2回新任推進員研修会を開催しました

2025年7月18日(金)に、2023年8月以降に当運動の「推進員」になられた方を対象にした新任推進員研修会を開催しました。当運動2回目の推進員研修会であり、対面・Zoom併用で、

「天にいます神に感謝せよ。慈しみはとこしえに」(詩編136編26節)

(さえぐさ みちなり／  
さえぐさ いくよ)



## 「新任推進員研修会に

参加して」

東海教区推進員 新庄 田鶴子  
毎年行われる東海教区の婦人研修会ではプログラムの中に「隠退教師を支える運動」担当者からの感謝と報告の時間が予定されています。宮澤淳子姉、八嶋由里子姉、五味優子姉の皆様がこの運動の理念と参加への呼び掛けをされてきています。



新庄 田鶴子 さん

会場でただ聴いている立場から一転、2024年4月に八嶋由里子姉から欠員になつてゐる教区の推進員を担当して欲しい旨の話がありました。当時は教区の常置委員と婦人専門委員長のつとめ、教会

役員のつとめなど奉仕が重  
なっていたことから少し躊躇  
がありました。が、教区のと  
めは24年度で終わること  
から見通しが立てられ、お引受け  
しました。教会では献金を年  
金局に送金する係をしていま  
すので、毎号「よろこび」は  
読ませて頂き、いつも心には  
温かく響くものがありました。

7月18日に新任推進員の研  
修会があり、この運動の基  
本的な姿勢を学びましたが、「祈  
り」と「信徒運動」を「きも  
」に、主に用いられることを感  
謝して推進員の一人とさせて  
頂きます。  
(しんじょう たづこ

／静岡草深教会

## 「推進員となつて」

東京教区南支区推進員

鶴田 眞希

2024年12月より推進員  
をお引き受けしています。教

会では100円献金の集計を  
担当してはいますが、研修会  
に出席してこの運動の役割や  
機構などをより深く知ること  
ができました。運動の発端と  
なった、苦境の中に召された  
牧師のお話しは以前なにかで  
耳にして印象に残っていました。



鶴田 眞希 さん

た。戦中から戦後の教会はど  
こも混乱期にあつたと推察さ  
れます。この舞台となった教  
会の今のようすを見てみま  
す。とても美しい会堂が建て  
られパイプオルガンも据えら  
れていました。私たちが当た  
り前のように礼拝に与る教会  
は、先人たちの熱い思いと信  
仰によって支えられて来たこ  
とを改めて思います。教会に  
仕えみ言葉を宣べ伝えるわざ

に生涯をささげられた教師の  
方々を、信徒一人一人が支え  
祈りを合わせていく大切さを  
広められればと願います。こ  
の運動を理解していただき実  
直に協力を願う各集会などで  
アピールする機会を得たいと  
思いました。多くの事を考え  
させられました研修会を企画  
して下さった皆様に感謝いた  
します。

(つるた まき／柿ノ木坂教会)

—近況をお寄せください—

毎秋の年金特集では、前年度内に受給者となられた先生方に近況を  
お寄せいただいておりますが、この度は、受給者のみなさまの近況を  
募集いたします。

いただきましたおたよりは、順次「よろこび」にご紹介していきたい  
と考えております。

# 業 務 室 よ り

## — 年金を受けている方へ —

### 年金給付のお知らせ

10月の定例給付のご案内をします。

**送金内容** 2025年度第2期分給付(2025年7・8・9月分)

**送金日** 2025年10月10日(金)  
期日に、ご指定の金融機関に入金されていない場合は、ご連絡ください。

**次回送金** 2025年12月10日(水)

受給者・配偶者の異動(逝去、婚姻等)及び、連絡先・振込先の変更は、できる限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れかで、年金局までお知らせください。

☆ 2025年版「受給者名簿」を同封いたします。正確を期したつもりですが、誤りなどございましたらお知らせください。この名簿は受給者の交わりにお役立ていただくことを目的として作成しているものですが、その扱いについては賛否ございます。2025年版を最後に、2026年からは希望される受給者の方にのみお送りいたします。1月にお送りします現況届に意思表示をいただく項目を設ける予定です。その時期になりましたら改めてお知らせいたします。

なお、不要になった名簿の処理にお困りの場合は、年金局までお送りください。

☆ 7月10日の定例給付日には、教師退職年金、キリスト教教育主事退職年金、遺族年金を合わせて、約1億7百万円を703名の方々にお送りいたしました。

☆ 6月19日(木)～20日(金)に第43総会期第2回年金局理事会が開催されました。出席者は対面、オンラインを合わせ30名でした。2024年度事業報告ならびに決算、監査報告、2026年度財務計画が承認されました。また、各委員会、各教区報告がされました。2024年度は2017年度以降減少が続いた給付が増加に転じ、掛金献金収入は減少となりましたが、隠退教師を支える運動からの繰入金と運用益により収支は約33百万円のプラスとなり退職年金に積み増すことができたことなどが報告されました。年金制度が守られ続けていることに感謝です。

☆ 常任理事として長年にわたりご奉仕くださいました中林克彦氏が7月末に神様のみ許に召されました。その働きを覚え感謝とともにご遺族の上に主の慰めをお祈り申し上げます。

☆ 今号では、三枝道也先生、三枝育代先生ご夫妻に原稿をお寄せいただきました。原稿依頼のお電話を差し上げた際には、とてもお元気なご様子で嬉しくなりました。ご協力いただきましたご家族の方にも感謝です。

☆ 連日の猛暑に加え、大雨による災害のニュースに心を痛める夏でした。まだまだ暑さは続くようです。どうか体調を崩されませんように、また被害が広がらぬようお祈りいたします。

(本田由紀子)

日 本 基 督 教 団 年 金 局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081

mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081

mail:sasae100@uccj.org